

# 令和4年度県新人大会について

競技部より

## 1 競技規定と競技方法

- ・2022年度日本ハンドボール協会競技規則、及び大会規定によって行う。
- ・但し、タイムアウトの請求に関してはトーナメントでは前後半1回ずつとするが、決勝リーグでは正規の競技規則を適用する。
- ・男女共1回戦から準々決勝までトーナメント方式とする。
- ・上位4チームで決勝リーグを行い、1位から4位を決定する。
- ・試合時間は25分ハーフとする。時間内に勝敗が決まらない場合には、第1延長まで行う。勝敗が決定しない場合は7mスローコンテスト(5人制)とする。延長戦は5分ハーフとする。
- ・チームの棄権があった場合、スコアは10-0として扱うものとする。
- ・決勝リーグにおいて、各チームの初戦で引き分けとなった場合、上位シードを含むブロックから勝ち上がったチームを優先して以降の試合を行う。

### ○決勝リーグにおける順位の決定方法

- ・順位の決定は、ポイント方式による。勝=2、引き分け=1、負=0とする。
- ・順位の決定は以下の順で決定する。
  - (1) ポイント数の多いチームが勝ち。(ただし、棄権チームが発生したことにより勝ち点が並んだ場合はすべての試合を消化したチームを上位とする)。
  - (2) ポイント数が同数のチームが2またはそれ以上の場合には、獲得可能なポイントが25%に達しないチームを除いて下記の方法で決定する。
    - ㊦ 得失点差の大きいチームが上位。
    - ㊧ 得失点差が同数の時は、得点数の多いチームが上位。
    - ㊨ ㊦、㊧でも決まらない場合は、チーム間の対戦結果順に順位を決定する。
  - (3) 上記(2)の方法で決定できない場合は、下記の方法で決定する。
    - ㊩ 全競技の得失点差で多いチームが上位。
    - ㊪ ㊩が同数の時は、全競技の総得点が多いチームが上位。

## 2 参加手続きとエントリーの変更・追加

- ・各校顧問は別紙大会参加同意書を大会終了まで必ず保管すること。
- ・大会参加申込書に記載されていない選手は、試合に出場することはできない。
- ・大会参加申込書の提出期日以後、これを変更・追加する場合、大会初日より1週間前までに、エントリー変更・追加届け(様式1)を本部事務局まで提出のこと。

## 3 組み合わせ抽選について

- ・今大会においては、令和4年度県総合体育大会第4位までの地区に出場枠と4シード権を与える。
- ・8シードについては、予備抽選順に第1シードの内枠を除いた3つの内枠で抽選を行う。

## 4 大会使用球について

各日程について次のように使用する。

大会1、3日目(男子モルテン 女子ミカサ) 大会2、4日目(男子ミカサ 女子モルテン)

## 5 試合に際しての注意

- ・試合会場に到着すると必ず大会本部へのコールを行い、プログラムを受け取り当日の諸注意を確認すること。
- ・監督は試合開始前に自チームメンバーの点検後、記録シートにサインをして下さい。監督、役員は役員カード(A~D)を付けること。(大会参加申し込み時の登録役員以外はベンチ入りできない)
- ・ユニフォームは必ず濃淡2色を準備すること。特にGKは他の選手と同色にならないように注意すること。
- ・靴下やアンダーウェア等の装具については、(公財)日本ハンドボール協会競技本部、審判委員会の定める「服装や保護を目的とした装具に関する規定」の定めるところとする。
- ・はちまきについては、ゴムバンド式で薄く幅広くないものは許可する。しかし、はちまきは伸縮性でなく、結び目から垂れた部分が危害を及ぼす可能性があるため、使用不可ではあるが、使用に支障がないと認めれば使用を認める。そのため、試合前のトスで確認し決定する。(垂れ下がり部分や結び目の部分を確認する:高体連専門部独自) (「はみ出る」とは、「ユニホームチェックの際に見えていない事」とする)
- ・背番号の配色はユニフォームの色と同系色にならないようにし、明確に背番号がわかること。
- ・試合前のコートでの練習場所は原則として記録席から見て左側を組合せ表の上のチーム、右側を組合せ表の下チームが使用すること。
- ・ベンチの対面に時間表示がない場合は、コーチングゾーンを超えて時間の確認することを認める。
- ・メンバー表の提出は第1試合の場合は30分前、第2試合以降からは前の試合のハーフタイム時に自チームの試合コートの記録席に提出すること。その時にユニフォーム(CP用2色、GK用2色)を持参し着用ユニフォームを決めること。(同時にベンチ入り役員、選手の日本協会登録証を提出すること。日本協会登録証を提出できない場合はベンチには入れない。)
- ・チーム役員の衣服は相手コートプレイヤーと同色でないこと。
- ・試合は必ず体育館専用シューズを用意すること。(アウトシューズを雑巾で拭くことは許可しない)
- ・松ヤニ・粘着スプレー等の使用は禁止。両面テープのみ可。
- ・試合開始時刻に顧問教諭(引率責任者)が不在の場合、またはそれに関して何らかの連絡がない場合は、10分間の試合開始遅延後、そのチームの棄権とみなし相手チームに勝利を与える。
- ・監督、役員のスリッパでのベンチ入りは許可しない。
- ・試合終了後、記録シートを受け取り顧問に渡すこと。(進学・就職資料)

## 6 オフィシャル(記録)に際しての注意

- ・第1試合については第3試合のチームがオフィシャルを行う。(オフィシャルは30分前に、得点係は10分前に来る)トーナメント表の上側のチームが記録員、下側のチームが得点掲示員とモップ係を出すことを義務付ける。
- ・自チームの試合終了後(2試合目以降)  
トーナメントの場合は勝ちチームより記録員(生徒)4名、モップ係(4名)を出すことを義務付ける。  
リーグ戦の場合は勝利チームより記録員(生徒)3名と得点掲示員1名(電光掲示)負けチームからモップ係(4名)を出すことを義務付ける。
- ・記録員はハーフタイム時に行われた次試合のトスが終了後、次試合のメンバーを公式記録用紙に記入しておくこと。
- ・記録員は試合終了後公式記録用紙を整理する。審判員等のサイン記入後、TDの確認を得たうえでチーム用シートを各チームに渡し、残り2枚は本部に提出。

## 7 裁定委員会、上告委員会、テクニカルデレゲート(以下TD)

- ・本大会に裁定委員会、上告委員会を置く。裁定委員会は大会委員長・副委員長・審判長とする。必要に応じて関係者を同席させる。
- ・裁定委員会は大会に関係したすべての問題を審議し、その対応を決定する機関である。
- ・上告委員会は大会委員長・副委員長・総務委員長および競技委員長が指名した委員で構成する。
- ・本大会ではMOを決勝リーグより置く。(準々決勝まではTDが兼務する。)

## 8 その他

- ・今大会の男女1位、2位チームは第46回近畿高等学校ハンドボール新人大会兼第46回全国高等学校選抜大会近畿地区予選への出場する権利と義務を有する。
- ・会場でのゴミは必ず各自で、または各チームで持ち帰ること。
- ・高校生らしくない行為(喫煙、窃盗、暴行、暴言等)のあったときは、以後の公式試合の出場は認めず、学校長への訓告書の送付をすることがある。
- ・会場までの往復路の車中等ではマナーを守り、一般の方々に迷惑のかからないようにすること。
- ・試合終了後、記録用紙を受け取った選手は、顧問の先生に必ず渡すこと。
- ・令和4年度県新人大会実施要項を必ず読んでおくこと。
- ・相手チームのゴールの後方での応援は配慮すること。

## 9 警報発令時等の緊急連絡方法。必ず顧問が行うこと。(高体連ホームページに掲載)

## 10 感染予防対策について

- ・大会参加申込書に記載された選手(20名)・チーム役員(4名)及び出場チームの引率責任者が許可した他の部員の入場を認める。また、各校の関係者(20名以内、各校が作成する許可証発行者名簿に記載のある者、以下これを「チーム関係者」と表記する)の入場を認める。入場するチーム関係者は必ず高体連から渡された許可証を携帯し、提示を求められた場合すぐに提示できるようにする。
- ・チーム関係者を除く、参加者は全員同意書(高体連HPからダウンロード)を作成後、各校の校長に提出し、許可を得たうえで大会参加申込みを行う。参加申込み後は顧問が保管する。
- ・引率責任者は大会受付時までにはチーム関係者を除く入場者全員分の健康観察表を完成させ、指定の期日まで各校で保管する。また、当日は必ず検温を実施し、発熱の症状のみならず、咳や咽頭痛の症状が見られる場合は参加を控えさせる。
- ・会場へのチームの入場は、試合開始予定時間の2時間前から可とし、受付にて兵庫県役員の許可を得てからチームでまとまって入場する。ただし開館(全会場とも8:30)以前の入場はできない。試合終了後は1時間を目処に可能な限り速やかに会場から退館する。チーム関係者の入場は試合開始予定時間10分前から可とする。試合終了後は速やかに施設外(学校会場の場合は学校の敷地外)へ退場する。※チーム(関係者含む)の入退場については、引率責任者が管理・指導をおこなう。また、その他のコロナ対策についてもチーム(関係者含む)に徹底できるよう責任を負うこととする。
- ・各校が作成した参加同意書、健康観察表、入場許可証発行者名簿は大会期間中から指定の期日まで顧問が保管をし、提示を求められた場合はすぐに提示できるようにする。
- ・コートを使用するウォーミングアップは大会参加申込書に記載されたメンバーに限る。また、大声を出してのウォーミングアップを禁ずる。
- ・ウォーミングアップ時や試合に出場している選手を除き、会場内にいる全ての役員・選手・チーム関係者は必ずマスクを着用する。
- ・試合前後のシェイクハンドのセレモニーは行わない。
- ・体育館の換気を十分に行う。また、体育館入り口に消毒液を設置する。
- ・応援は拍手のみで行う。(太鼓などの打楽器は可)また、他の参加者、大会関係者等との距離(できるだけ2m以上)を確保する。
- ・更衣は更衣室を使用し、更衣室内が密にならないようにチーム同士でゆずり合いや工夫をおこなうとともに、更衣後は速やかに退室する。※荷物を置いたままにせず、更衣時もマスク着用を厳守する。
- ・各チームは消毒用アルコールを布に吹きつけたものか除菌シートを自チームで準備し、チームが使用した後のベンチやドアノブ等の触れた箇所をふいて消毒できるようにする。
- ・タオル、スポーツドリンクの共用はしない。
- ・食事をするときは対面にならず、黙食を心掛ける。
- ・大会前後もしくは大会期間中にコロナ関連により各チームに不測の事態が生じた場合は、速やかに各地区委員長に報告し、指示を受ける。